

拝啓 御主人様田崎泰治君ご逝去の報に接し、驚きを禁じ得ません。かねてご病氣療養中のところ肺炎を併発、お亡くなりになったとこのことです。この度のご急逝は思いもよらず、ただただご哀悼の意を表すばかりでございます。御奥様はじめ、御家族の皆様のお嘆きはいかばかりかとお察し申し上げます。

思えば、昭和三四年の春に江田島の海上自衛隊幹部候補生学校に入校以来五八年の歳月が流れております。私ども同期生一七〇名も皆八〇歳を超えまして五〇余名が既に他界を致しております。おそらく御主人の田崎君も天国にて同期生に再会し昔を語り合っていることと思っております。しかしながら残された御奥様を始め御家族の皆様方にはお寂しくなられたことを思いますと、御慰めの言葉もありません。

尚、同期を代表して山中博司君がお宅にお伺いしまして、田崎泰治君のご霊前にてご冥福をお祈り申し上げることにさせて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

先ずは、十期和会会員一同になり代わりまして、今は亡き泰治君のご冥福を心からお祈り申し上げます。 敬具

平成二十九年六月二一日

田崎貴美子 様

十期和会会長